

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2020-77524 (P2020-77524A)  
 【公開日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-020  
 【出願番号】特願 2018-210164 (P2018-210164)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 24/60 (2011.01)

H 0 1 R 13/6581 (2011.01)

H 0 1 R 13/58 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 24/60

H 0 1 R 13/6581

H 0 1 R 13/58

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 6 日 (2021.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 0 2 - 3 1 9 4 5 6 号公報

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

特許文献 1 に開示された構造は、外側ハウジングの内部での内側構造体のぐらつきを十分に規制できない。特に、ケーブルが煽られたとき、内側構造体がぐらつくおそれがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

図 1 2 に示されるように、内側構造体 2 0 は、中継基板 4 0 を備えている。中継基板 4 0 は、絶縁体からなる基部 4 2 を備えている。基部 4 2 は、嵌合部 3 0 の後端（- X 側の端）に取り付けられており、これにより、中継基板 4 0 は、嵌合部 3 0 の後方に位置している。基部 4 2 は、X Y 平面と平行な平板形状を有している。基部 4 2 の上面（+ Z 側の面）及び下面（- Z 側の面）の夫々には、複数の結線部 4 4 が形成されている。結線部 4 4 の夫々は、基部 4 2 に形成された導電パターンである。即ち、中継基板 4 0 には、複数の結線部 4 4 が設けられており、結線部 4 4 は、嵌合部 3 0 の後方に位置している。